

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和4年12月8日(2022.12.8)

【国際公開番号】WO2020/115322
 【公表番号】特表2022-510839(P2022-510839A)
 【公表日】令和4年1月28日(2022.1.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-016
 【出願番号】特願2021-528954(P2021-528954)
 【国際特許分類】

10

A 2 4 F 4 0 / 4 6 (2 0 2 0 . 0 1)

A 2 4 F 4 0 / 1 0 (2 0 2 0 . 0 1)

【F I】

A 2 4 F 4 0 / 4 6

A 2 4 F 4 0 / 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月29日(2022.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電気加熱式エアロゾル発生システム用のアトマイザーであって、
 空気吸込み口および空気出口を画定するアトマイザーハウジングと、
 液体エアロゾル形成基体を収容するための貯蔵部部分と、
 前記空気吸込み口と前記空気出口の間に長軸方向に延びる気流通路であって、前記ア
 トマイザーハウジングが前記貯蔵部部分および前記気流通路を画定する、気流通路と、
 前記気流通路と前記貯蔵部部分の間に位置付けられた平面の流体透過性発熱体であ
 って、その結果、前記平面の流体透過性発熱体の一方の側が前記気流通路と流体連通し、
 前記平面の流体透過性発熱体の反対側が前記貯蔵部部分中の液体と流体連通して、前
 記平面の流体透過性発熱体が長軸方向に延びる、平面の流体透過性発熱体と、
 前記平面の流体透過性発熱体がある上に支持されているヒーターマウント部分であ
 って、前記ヒーターマウント部分が、前記アトマイザーハウジング中に受容され、かつ前記
 貯蔵部部分と前記気流通路の間に位置付けられており、その結果、流体が前記平面の流体
 透過性発熱体を通して前記貯蔵部部分から前記気流通路へ通過することができる、ヒー
 ターマウント部分と、を備えるアトマイザー。

30

【請求項2】

前記ヒーターマウント部分が、前記気流通路から前記貯蔵部部分を仕切るために、前記
 アトマイザーハウジングにプレスばめされている、請求項1に記載のアトマイザー。

40

【請求項3】

前記ヒーターマウント部分が、長軸方向軸に直交する方向に前記アトマイザーハウジ
 ングにプレスばめされている、請求項2に記載のアトマイザー。

【請求項4】

前記アトマイザーハウジングが、それを通してヒーターマウント部分を通すことができ
 る穴と、前記穴を密封するように構成されたリッドとを備える、請求項1または2に記載
 のアトマイザー。

【請求項5】

50

少なくとも一つの電気接点と前記流体透過性発熱体との電氣的接続を確保するために、前記リッドが押し下げられうる、請求項 4 に記載のアトマイザー。

【請求項 6】

前記アトマイザーの空気吸込み口端に位置付けられ、かつ前記アトマイザーハウジングの外部からアクセス可能な複数の電気接点を備え、前記電気接点が前記平面の流体透過性発熱体に電氣的に接続されているか、または接続可能である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

【請求項 7】

前記アトマイザーハウジングが一体型の構成要素である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

10

【請求項 8】

外部ハウジングを備え、前記アトマイザーハウジングが前記外部ハウジングにプレスばめまたはスナップ嵌めされており、前記アトマイザーハウジングおよび前記外部ハウジングと一緒に液体エアロゾル形成基体を収容する貯蔵部部分を取り囲む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

【請求項 9】

前記アトマイザーハウジングが、前記外部ハウジングに長軸方向にプレスばめまたはスナップ嵌めされている、請求項 8 に記載のアトマイザー。

【請求項 10】

前記外部ハウジングが、ユーザーがそれを吸って、前記アトマイザーによって発生されたエアロゾルまたはペーパーを、前記空気出口を通して引き出すことができるマウスピース部分を備える、請求項 8 または 9 に記載のアトマイザー。

20

【請求項 11】

前記気流通路が、前記空気吸込み口と前記空気出口の間に一直線に延びる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

【請求項 12】

前記アトマイザーが長軸方向に直交して長方形の断面を有する、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

【請求項 13】

前記平面の流体透過性発熱体が細長く、かつ長さおよび幅および厚さを有し、前記長さが長軸方向であって前記幅より大きく、前記幅が前記厚さよりも大きい、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のアトマイザー。

30

【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載のアトマイザーと、装置部分とを備え、前記装置部分が、電源と、前記電源に接続された制御回路とを備え、かつ前記アトマイザーと係合して前記電源から前記平面の流体透過性発熱体への電力供給を可能にする、電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 15】

前記装置部分が、長軸方向と整列した長軸方向軸を有する、請求項 14 に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

40

【請求項 16】

前記システムが、ユーザーがそれを吸って、前記アトマイザーによって発生されたエアロゾルまたはペーパーを、前記空気出口を通して引き出すことができるマウスピースを備える、請求項 14 または 15 に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 17】

前記装置部分が、ユーザー吸煙とユーザー吸煙の間に、第一のゼロでない電力を前記発熱体に供給するか、または前記発熱体を第一の温度にまたは第一の温度範囲内に維持するために十分な電力を供給するように構成されている、請求項 16 に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 18】

50

前記装置部分が、ユーザー吸煙中に前記発熱体に第二の電力を供給するように構成されており、前記第二の電力が前記第一の電力よりも大きい、請求項 17 に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 19】

前記貯蔵部部分が、ニコチンを含むエアロゾル形成基体を収容する、請求項 14 ~ 18 のいずれか一項に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 20】

ユーザーがそれを吸ってエアロゾルを引き出すことができる電気加熱式エアロゾル発生システムであって、

アトマイザーと、装置部分とを備え、

前記アトマイザーが、

空気吸込み口および空気出口を画定するアトマイザーハウジングと、

液体エアロゾル形成基体を収容するための貯蔵部部分と、

前記空気吸込み口と前記空気出口の間に長軸方向に延びる気流通路と、

前記気流通路と前記貯蔵部部分の間に位置付けられている平面の流体透過性発熱体であって、その結果、前記平面の流体透過性発熱体の一方の側が前記気流通路と前記流体連通し、前記平面の流体透過性発熱体の反対側が前記貯蔵部部分と流体連通して、前記平面の流体透過性発熱体が細長く、かつ長さおよび幅および厚さを有し、前記長さが長軸方向であって前記幅よりも大きく、前記幅が前記厚さよりも大きい、平面の流体透過性発熱体と、

前記平面の流体透過性発熱体がある上に支持されているヒーターマウント部分であって、前記ヒーターマウント部分が、前記アトマイザーハウジング中に受容され、かつ前記貯蔵部部分と前記気流通路の間に位置付けられており、その結果、流体が前記平面の流体透過性発熱体を通して前記貯蔵部部分から前記気流通路へ通過することができる、ヒーターマウント部分と、を備え、

前記装置部分が、電源と、前記電源に接続された制御回路とを備え、前記アトマイザーと係合して前記電源から前記平面の流体透過性発熱体への電力供給を可能にし、前記装置部分が、ユーザー吸煙とユーザー吸煙の間に、前記発熱体に第一の電力を供給するため、または少なくとも前記発熱体を第一の温度にもしくは第一の温度範囲内に維持するのに十分な電力を供給するために、前記発熱体に電力を供給するように構成されている、電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 21】

前記装置部分が、ユーザー吸煙中に前記発熱体に第二の電力を供給するように構成されており、前記第二の電力が前記第一の電力よりも大きい、請求項 20 に記載の電気加熱式エアロゾル発生システム。

【請求項 22】

エアロゾル発生システム用のカートリッジであって、

空気吸込み口および空気出口を画定するカートリッジハウジングと、

エアロゾル形成基体と、

前記空気吸込み口と前記空気出口の間に長軸方向に延びる気流通路と、

前記気流通路と前記エアロゾル形成基体の間に位置付けられた平面の流体透過性発熱体であって、その結果、前記平面の流体透過性発熱体の一方の側が前記気流通路と流体連通し、前記平面の流体透過性発熱体の反対側が前記エアロゾル形成基体と流体連通している、平面の流体透過性発熱体を含むヒーター組立品と、

前記平面の流体透過性発熱体がある上に支持されているヒーターマウント部分であって、前記ヒーターマウント部分が、前記アトマイザーハウジング中に受容され、かつ貯蔵部部分と前記気流通路の間に位置付けられていて、その結果、流体が前記平面の流体透過性発熱体を通して前記貯蔵部部分から前記気流通路へ通過することができる、ヒーターマウント部分と、を備え、

前記カートリッジハウジングが長軸方向に延びる壁を備え、前記ヒーター組立品がそれ

10

20

30

40

50

を通して受容される前記壁の穴を備える、カートリッジ。

10

20

30

40

50